



講題

# 『戦後 80 年に思う わが国の守り』

— 自衛隊を軍隊とする覚悟が  
求められている今 —

元西部方面總監

林 直人先生

## 講師プロフィール

昭和23年福岡県生まれ。昭和46年防衛大学校（第15期生）を卒業後、第5普通科連隊に入隊、陸上自衛隊幹部学校、米国陸軍戦略大学留学等々を経て、統合幕僚会議事務局第1幕僚室長並びに第3幕僚室長、第3師団長、陸上幕僚副長、西部方面總監を歴任。平成19年退官。官公庁剣道連盟会長

令和7年10月4日（土）

開会：13時半

受付：13時～ 懇親会：17時～19時

論語を奉唱致しますので、『仮名論語』をお持ちの方はご持参下さい

## 会場

遠井研修センター  
「金蘭の家」



〒643-0533 和歌山県有田郡有田川町遠井627

TEL：0737-25-1331

会費  
(全て税込表示)

5,000円（研修会と懇親会）

宿泊希望の方はプラス2,000円 合計7,000円となります

主催：金蘭研修会事務局

令和7年金蘭研修会

『論語』の憲問篇に「吾其の髪を被<sup>こうむ</sup>り衽<sup>えり</sup>を左にせん（異民族に征服され、その風習である髪をふりみだし着物を左前にしたであろう）」とありますが、現在のウクライナ戦争やガザ侵攻は、八十年前の我が国の「國破れて山河在り」に重なります。

戦争の放棄を掲げる憲法があるにしても、日本国の守りは自らの国の軍事力で対応できなければ、国体と歴史や文化を維持することはできません。末代の子々孫々に引き継ぐためには、万端の国の備えと守りがあつたればこそです。

令和七年度も林直人先生にご登壇頂き、自衛隊と他国の軍隊との差異を学び、日本国民として何をなすべきかを熟慮する場にしたいと思います。皆さまお誘い合わせの上、ぜひ多数ご参加頂きますようご案内申し上げます。

「金蘭の家」世話人代表 進藤良孝

|               |             |
|---------------|-------------|
| 13:30 ~ 14:00 | 論語奉唱        |
| 14:00 ~ 15:30 | 講演          |
| 15:30 ~ 16:30 | フリーディスカッション |
| 16:30 ~ 17:00 | 餅つき・餅まき     |
| 17:00 ~ 19:00 | 懇親会         |

## 申込要領

- 下記申込書に記入し FAX・郵便・メールでお送り下さい  
後日ご案内状をお送りします。

参加費 5,000円【研修会・懇親会】

宿泊希望の方はプラス 2,000円 合計7,000円となります（全て税込表示）

### お支払方法

当日、現地受付でお支払いください

### 申込締切

9月24日（水）

### 定員

80名 ※ 宿泊は先着30名

### お問合せ・お申込み先

## 金蘭研修会事務局（堅田）

〒640-8482 和歌山市六十谷71-6 株式会社 進藤建設

TEL:073-461-3132 FAX:073-461-2606 E-mail: info@shindo.net

## 『令和7年金蘭研修会』

### —— 申込書 ——

- 研修会・懇親会に

参加

宿泊も希望

- JR 和歌山駅東口発着の送迎を

希望する

希望しない

※ 送迎を希望される方は、11時半までに東口へご集合下さい

お名前

ご住所 〒

電話

( )

E-mail